日高の野菜・花き生育情報

新冠町・新ひだか町・浦河町・様似町・えりも町
≪９月中旬～10 月上旬≫

令和７年９月１２日発行
第５号
日高農業改良普及センター本所
Tel：0146-42-1489
Fax：0146-42-2521

【作物共通】

① 外気温が徐々に低下し、夜間の気温も下がってくるため、夜温が確保できる時間帯に換気窓を閉めましょう。それに伴い、ハウス内の湿度が高まり、病害の発生しやすい状態になるため、日中の換気はこまめに行い、過湿状態の緩和を図りましょう。

②台風や暴風雨の接近が予想される時は、防風網の点検、ハウスの修理、被覆資材の修復、バンドの締め直し、支柱や筋交いの補強、ハウス周辺の排水溝を掘り下げるなど、ハウスの防災環境を整えておきましょう。また、台風や暴風雨が通過後もこれらを点検し、整備しましょう。

③大雨等により滞水が発生した圃場は、速やかに排水対策を行いましょう。

【野菜】

作物名	生育状況・管理のポイント	病害虫・生理障害等
ピーマン 無加温半促成 品種：みおぎ	・おおむね順調です。日焼け果・尻腐れ果は減少傾向です。 ・作業は整枝作業および主枝 18～20 節目の収穫が行われており、収穫段数は昨年並です。 ・草姿や果実肥大の進みを確認し、かん水は適宜行いましょう。 ・夜温が下がって来る時期となります。ハウス側窓の開閉は適切に行いましょう。	・一部の圃場で、アザミウマ類、ハダニ類、アブラムシ類が散見されます。また、チョウ目幼虫（ヨトウガ、オオタバコガ）は昨年より少ないものの、発生しています。 ・斑点病が増加しています。防除を徹底しましょう。 【斑点病】
ミニトマト ７月定植 品種：キャロル１０	・抑制作型の　定植日が昨年度より若干早いため、やや進んだ収穫状況になっています。 ・生育は概ね順調ですが、中段花房では高温による着果不良が多く見られます。一方、上段は花数が多く、作型終盤の小玉による正品率低下が懸念されます。適切な花房の適花を行い果実の正品率を向上させましょう。	・斑点病が見られます。引き続きローテーション防除を行いましょう 【斑点病】

いちご 夏秋どり (高設栽培) 品種：すずあかね すずりっか	・株疲れによる草勢低下の影響で果実は小玉傾向です。 ・作業は収穫、摘葉、摘果、芽かき、ランナー除去、収穫後の果房除去などの株管理が行われています。 ・排液率 20～30%を目指し、給液の量や回数を調整しましょう。 ・収穫が続き、株が疲れやすい時期です。古葉取りや給液の調整で株の負担を軽減し、草勢の回復を図りましょう。 ・葉柄が赤くなる症状（窒素欠乏）が見られる場合には、葉面散布の実施も検討しましょう。	・アザミウマ類の発生が散見され、一部でハダニ類、灰色かび病が見られています。定期的に予察調査を行い、発生初期での防除をしましょう。 【灰色かび病】

【花　き】

作物名	生育状況・管理のポイント	病害虫・生理障害等
デルフィニウム ハウス作型	・高温の影響により、草丈がやや短い状態での開花が続いています。 ・作業は採花、防除、管理作業が行われています。 ・ほ場によっては高温の影響で根張りが弱い傾向にあり、些細なストレスで生理障害などの影響を受けやすい状況です。こまめな温度管理、水管理を徹底してください。	・一部でバッタ、コオロギなどの発生・食害が見られています。 ・灰色かび病、うどんこ病は少なめですが、今後発生が増加しやすくなる時期ですので、予察と防除を徹底しましょう。 【うどんこ病】

★農薬を使用する場合は、必ず使用基準を守りましょう★